

2021年1月29日

2020年度聖路加国際大学大学院看護学研究科

課題研究

論文題目

健康増進に関する住民のボランティア活動の文献検討
A Literature Review of Community Volunteer Activities
Related to Health Promotion

19MN020

寺井かな

論文要旨

目的

本研究では、この10年の健康増進に関するボランティア活動者と健康増進に関するボランティア活動の内容について文献検討を行い、健康増進に関する住民のボランティア活動について分析し、考察する。

方法

健康増進に関する住民のボランティア活動について、近年国内で刊行された学術論文を対象に文献検討を行った。検索の主なキーワードは「住民」「健康増進」「ボランティア活動」とし、日本語文献の検索を実施した(2020年6月)。テーマに沿った29本の論文の内容を分析した。

結果

ボランティア活動者は、【ボランティア活動に喜びややりがいを感じる】一方で、【ボランティア活動に精神的な負担を感じる】思いを抱いていた。ボランティア活動者の養成では、市町村などが養成を担当し、参加者が【ボランティア活動に必要な技術を獲得できる】ことを目標に【参加者同士が話し合える機会を設ける】等の方法を用いていた。

ボランティア活動は【地域住民と健康増進に携わる関係者の話し合い】などによりボランティア活動が開始されていた。ボランティア活動の目的は、【地域住民の健康を保持・増進する】などであった。ボランティア活動の種類として、【健康教室の開催・運営をする】【健康診断や生活習慣について普及啓発活動を行う】【行政・関係機関の健康増進事業に協力する】【高齢者や障がい者、母子、住民と交流を持つ】【健康増進に関するボランティア活動を担う住民を養成する】があった。これらのボランティア活動により、【ボランティア活動の参加者や住民の健康指標が改善した】や、ボランティア活動者自身も健康的になったりする影響が報告されていた。

結論

ボランティア活動は、ボランティア活動の参加者やボランティア活動者の健康を増進させ、健康増進につながる地域の取り組みやネットワークを促進する活動である。